

# 福祉のかけ橋

平成14年4月号 第27号



年末施設見舞 (南山見保育所)

## 民生児童委員に就任して

南山見地区民生児童委員 須川 義孝

昨年十二月、当地区の民生児童委員に就任いたしました。この民生児童委員は、八十年余の歴史をもつ制度であり、その伝統を引き継ぎながら今新たに、より豊かな福祉社会の構築を目指し、地域住民の立場に立った活動を一層推進強化していくことが求められています。

民生活動は、地味ではありますが地区における要援護者への個別援助活動がその基本であります。

主な活動は(1)住民の方々の生活実態の把握、(2)悩み事や心配事を持つ方々への相談助言、(3)社会福祉の制度やサービス活動についての提供、(4)要介護者や家族と行政機関や施設各種団体との間にあって相互連携、(5)児童と母子家庭などへの健全な支援などがあります。

これらの対応については、私達は出来る限りの努力をせねばなりません。私どもで不明な点は、町の住民福祉課、介護支援センター、南山見地区社会福祉協議会などと相互連携をとりながら援助支援をして行かねばならないと思います。

地区の皆さんは一人一人が日々自立を目指して努力されている訳で、私達は、生活上問題を抱えている方々の立場に立った温かい援助相談に努めます。今後とも、民生児童委員の活動にご理解を頂き、一層のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひします。

在宅介護者

ワフレッツシユ研修 実施

三月十七日木彫りの里創遊館に於いて、家庭で寝たきりの方や、痴呆症の老人などの在宅介護に携わっておられる方々をお招きし、日頃の苦勞や体験を話し合うとともに、介護の方法や、病人自身の自立を目指す介護、支援サービス等について学習する研修会を行いました。

学習一 ビデオ聴講 (砺波ライブラリー借用)

演題 「無理のないケアを目指して」

実際介護なさっている方の体験、寝たきりにならない為の日頃からの体の訓練等について聴講しました。

学習二 指導 「在宅介護について」

講師 特別養護老人ホーム井波

主任介護職員 野村 正枝氏

介護職員 藤永裕佳理氏

\*介護者自身の健康保持の大切さ

家族と相談し睡眠は十分とるようにする。

介護日は概ね二十四日程度

\*病人には残存機能を生かし、座ろう…立とう…歩こう…着てみよう体験させる。

\*外の空気は新鮮

病人はできるだけ車椅子等を利用し、新鮮な空気を吸わせる。

\*相手も思いやり自分も思いやり…

介護を楽しく、ユーモアで共存、共栄を



\*参加者全員が病人になったつもりで、座ろう、立とう、歩こう、着てみよう、車椅子の運転等を介護職員の指導で楽しく実施しました。

\*最後に、日頃の苦勞話を語り合い有意義な会合となりました。(事務局)

保育所・マージ園へ 歳末見舞い品贈呈

事務局

十二月二十日午後三時三十分、南山見保育所を訪問。前もって連絡しておいたので、可愛い園児たちは遊戯室にあつまってお待ち兼ね。武田地区社協会長が挨拶をしてから、年長組の児たちに出てもらい「みかん」箱をうけ取っていました。

荒木保育所所長代理のお礼の言葉を頂き「アリガトウ」の元気な声を後にし退所。

午後四時、マージ園を訪問し武田会長・狩野副会長から園生代表に歳末見舞いの「みかん」箱を手渡し、お礼の返答。 沢田園長より改めてお礼の言葉を受けて帰りました。

無事、歳末の二施設見舞い訪問を終えました。



ミニ託老所世話方研修

第一回会食交流会に参加して

沖ミニ託老所代表 村松逸子



一月十九日、研修に参加し調理実習で習った食事をつくり、招待者や参加者といろいろ話をしながら会食しました。

食事後、ピニールひもで「知恵の輪」をしたり、交通安全運動用につくられたマスコットを頂いたりし、とても楽しいひとときを過ごしました。

私自身も、こうした研修会に参加したことがありませんでしたが、実際に参加体験してみても「会話やふれあい」の大切さを感じました。

これからも招待者の皆さんに一人でも多く参加していただき、私も先輩の方々にいろいろ教えていただき勉強していきたいと思っております。

ボランティア

第二回会食交流会

双葉グループ代表 島 和子

二月九日、地区社協とボランティアグループの皆さんで「一人暮らし」や「高齢者世帯」の方々に公民館にお招きし、鍋料理の会食交流を行いました。

寒い冬の団欒に相応しい食材でおもてなしたところ、お代わりも進み、御腹満腹、和気あいあいの笑顔とお話して、とても盛り上がりました。

食事後ボランティアによるアトラクションの「踊り」や「ゲーム」(ペットボトルに入っている水を別の容器に早く移すゲームなど)に時間の経つのも忘れる、とても楽しい一日となりました。

いつの間にか帰宅時刻となり「またね！元気でね！」と手を振りながら喜んで頂けたことに、私達も幸せを感じながら、これからも地域に合った活動が出来るよう頑張りたいと思っております。

今後の行事予定

- 四月上旬 会計監査
- 四月中旬 役員会
- 四月下旬 総会
- 四月下旬 花苗配布

平成13年度 南山見地区社協事業経過 (H13.12.1以降)

年月日	実施事業	場所
13. 12. 20	歳末施設見舞い(保育所・マーシ園)	地区内
12. 26	歳末見舞い(80歳以上:寝たきり等:75歳以上独居)	〃
14. 1. 1	広報「福祉のかけ橋」第26号発行	
1. 19	ミニ託老所世話方研修会:会食交流会第一回	公民館
2. 9	会食交流会第二回(一人暮らし老人:高齢世帯)	〃
2. 17	三世代交流の集い(ブーケ作り等)	〃
2. 20	地区社会福祉協議会リーダー研修会(会長出席)	県総合福祉会館
3. 2	四地区社協会長連絡会議(役場と予算会議)	福祉センター
3. 2	井波地域ボランティア交流会	〃
3. 17	在宅介護者リフレッシュ研修会(講師 特養井波)	木彫りの里
3. 23	花鉢贈呈(一人暮らし老人)	地区内

舞

八十五歳以上・寝たきり  
七十五歳以上の一人暮らし

見

百四名の方々に歳末見舞い品を

末

二十一世紀

歳

の幕開けは、  
「えひめまる」

の沈没事故、米中樞  
同時多発テロ等があ  
り、長引く不況で企  
業倒産、リストラに  
よる失業率の上昇で  
社会、経済情勢が重



苦しい時、十二月一日「敬宮愛子さま」が  
お生まれになり少しのほのほのさが。年の  
瀬も押し迫った二十六日からボランティア・  
グループの皆さんのご協力を得て、地区内  
の八十五歳以上・寝たきり・七十五歳以上  
一人暮らしの方々百四名に、「こころばか  
りの粗品」を贈らせて頂きました。

後から聞いたのですが、院瀬見地区では  
可愛い子供達も出て元気な声で「オジイチャ  
ン・オバアチャン元気でネ」と声掛け、皆  
さん目を細め、微笑み「ありがとう」の返  
答に嬉しさがにじんでいる。温かい活動。

(事務局)

第13回

3世代交流の集い

二月十七日南山見公民館主催の  
「三世代交流の集い」が開催され、  
当地区社協も管内の各種団体と一緒  
に共催の事業として参加しました。  
参加者約百五〇名。開会式の後、  
三世代が一緒になって菓子品(草履・  
しめ縄)竹細工、ペットボトルでロ  
ケットづくり、ラベンダーリースづ

一人暮らしの方に  
福祉(幸)の花鉢贈呈



暑さ、寒さも  
彼岸までと言

ますが、三月二  
十三日あいにく  
の荒れ模様でア  
ラレも降る寒い  
夕方五時から、  
一人暮らしの方を(田村玉喜・倉島政光・  
中村はつえ・西田弓子・高田一子・山岡一  
枝さん)訪問し、花鉢を贈って来ました。

今年、「心のリフレッシュと健康の一  
助」をイメージして、観葉植物と風邪にも  
効くと言われている黄金色の実付きキンカ  
ン鉢を、武田会長の手から「健康に留意し、  
元気で何時までもこの鉢を育てて下さい」

くり、牛乳パックを使った帽子づく  
りを行いました。  
昼食には、皆んなでつくった「お  
餅」や「おすし」「豚汁」などをい  
ただき、午後は、子供達の喜ぶ「ア  
ニメの映画会」を鑑賞し、とても楽  
しい一日となりました。(事務局)

の言葉を添えて渡され、贈られた人も寒い  
玄関先で喜んで受け取って居られました。  
一人暮らしの方も、鉢物も何時までも活  
きいきとを願いつつ。(事務局)

編集後記

狂牛病問題が、少し落ち着いてきたかと思っ  
ていた矢先のこと、今度牛の外国産を国内  
産と偽ったり、産地のラベルを張り替えたりと  
忙しいことである。  
なんで消費者をだますのか、知らないからだ  
ましてやれ、そして楽しんで儲けてやれと、その  
あおりで会社は解散してしまつた。  
消費者はバカではない、なにを信用して生活  
すれば良いのか、目を大きく開いて世の中を見  
つめて行きたいものである。 案山子

号数	第二七号
発行	平成十四年四月
所在	富山県井波町川原崎 南山見公民館内
発行者	南山見地区社協

◎ 読んだら綴りましょう